

<small>だい かい よこはまししょうがいしゃしざくけんとうぶかいかいぎろく</small> 第1回 横浜市障害者施策検討部会会議録	
<small>にち じ</small> 日 時	<small>れいわ ねん がつ にち げつ じ ぶん じ ぶん</small> 令和2年8月3日(月)14時00分～16時30分
<small>かいさいばしょ</small> 開催場所	<small>よこはましけんしゅう</small> 横浜市研修センター 401・402
<small>しゅつ せき しゃ</small> 出席者  <small>ごじゅうおん</small> (五十音  <small>じゅん</small> 順)	<small>あかがわいいん いいやまいん いでいいん いのうえいいん おおばいいん おかむらいん さかた</small> 赤川委員、飯山委員、井出委員、井上委員、大羽委員、岡村委員、坂田  <small>いいん すやまいん なかせいいん ならさきいいん わたなべいいん</small> 委員、須山委員、中瀬委員、奈良崎委員、渡部委員
<small>けつ せき しゃ</small> 欠席者	<small>すずきいいん もりいいん</small> 鈴木委員、森委員
<small>かいさいけいたい</small> 開催形態	<small>こうかい ぼうちようしゃ</small> 公開(傍聴者なし)
<small>ぎ だい</small> 議 題	<small>ぎだい</small> 議題  (1) <small>かいちよう せんしゅつ</small> 会長の選出  (2) <small>しょうがいしゃぶらんそあん さくてい</small> 障害者プラン素案の策定について
<small>ぎ じ</small> 議 事	<small>ぎだい かいちよう せんしゅつ</small> 議題1 会長の選出  <small>じむきょく ほんぶかい かいちよう せんしゅつ</small> 事務局/本部会の会長を選出したいと思う。どなたかご意見はあるか。  <small>さかたいいん わたなべいいん ねが</small> 坂田委員/渡部委員にお願いしたい。  <small>いちどうさんせい</small> (一同賛成)  <small>じむきょく しょくむだいいりしゃ せんしゅつ ねが</small> 事務局/では職務代理者を選出したいと思う。会長からお願いしたい。  <small>わたなべかいちよう ほんじつ けっせき もりいいん ねが りようかい</small> 渡部会長/本日もご欠席ではあるが森委員にお願いしたい。ご了解いた  <small>じむきょく かくにん</small> だけるか、事務局から確認してもらいたい。  <small>じむきょく じむきょく もりいいん かくにん</small> 事務局/では事務局のほうから森委員に確認させていただく。

わたなべかいちょう  
(渡部会長あいさつ)

ぎだい しょうがいしゃ そあん さくてい  
議題2 障害者プラン素案の策定について

わたなべかいちょう だい き そあん さくてい じむきょく せつめい ねが  
渡部会長/第4期素案の策定について事務局から説明をお願いしたい。

また、15時を目安に休憩に入りたい。進め方としては、15時までに1章、2

しょう しょう さいしよ もくひょう すず  
章、3章の最初まで目標に進めていきたい。

じむきょく がいよう せつめい しりょう そあん しょう しょう せつめい  
事務局/概要の説明(資料1-1、1-2、素案1章、2章の説明)

わたなべいいん じつもん いけん  
渡部委員/これまでのことでご質問、ご意見いかがでしょうか。

わたし  
私から1つだけよろしいか。

こんかいだい き うつ くに どうこう うえ  
今回第4期に移るにあたり、資料第1章の4ページ、国の動向というところの上

に、大きく5つの分類で進めていくことになっている。そのこと自体は賛成だが、

せいかつ ばめん きさい ひつよう  
生活の場面1と記載する必要があるか。

あともう1つ、つづいて だい しょう  
続いて第2章の6ページ、これまでの振り返り・課題の部分で、

その課題の2行目に地域療育センターを中心とした支援の充実等という記載が

ある。一方で3章の14ページに答申をさせていただいたというところに、抜本

てき みなお きさい つじつま あ かたち きさい  
的な見直しという記載もある。辻褄が合うような形で記載いただけるといい。

つづいて だい しょう せつめい ねが  
つづいて第3章のご説明をお願いしたい。それを踏まえて質疑に入りたい。

じむきょく だい しょう せつめい そあん あん  
事務局/第3章の説明(素案(案))

わたなべかいちょう なに いけん しつもん  
渡部 会長 / 何かご意見、ご質問はあるか。

ならさきいいん しょうがいしゃ けんりじょうやく いっぱん にん わ せんもんしよく し  
奈良崎委員 / 障害者権利条約は一般の人でも分かるのか。専門職でも知らない  
人があるのに、ここで掲載していいのか驚いてしまう。

じむきょく しょうぶん ぜんぶの むづか もくてき じょうやく  
事務局 / 条文を全部載せるのはボリュームがあるので難しいが、目的や条約に  
定められている大枠のものを用語解説のように記載するのはどうだろうか。

わたなべかいちょう ならさきいいん ひょうげん いけん ねが  
渡部 会長 / 奈良崎委員、どういう表現がいいかご意見があればお願いしたい。

じむきょく けんとう すず  
事務局のほうで検討ということであればそれで進めたいかがか。

ならさきいいん しょうがいしゃ けんりじょうやく じたい りょう おお かんたん じょうやく せつめい  
奈良崎委員 / 障害者権利条約自体の量が多い。簡単に条約の説明だけでいい  
と思う。一般市民が説明が無いときに見たときに分かりにくいと思う。

わたなべかいちょう いじょう ふ ばめん すず  
渡部 会長 / それでは、以上を踏まえて、それぞれの場面ごとに進めていきたい。

さいしょ さまざま せいかつ ばめん ささ ぶんしょう おお すこ  
最初が様々な生活の場面を支えるものということになる。文章が多いので、少し

せつめい じかん おも ぎろん おこな おも  
説明にも時間がかかると思うが、そのあとに議論を行いたいと思う。

じむきょく そあん あん だい しょう せつめい  
事務局 / 素案（案）第3章の説明

わたなべかいちょう いいん みなさま なに  
渡部 会長 / 委員の皆様、何かございますか。

おおばいいん じんざいかくほ きささい しょうがい  
大羽委員 / 人材確保のところだが、ここに記載されていることはよくわかる。障害  
福祉分野の仕事の魅力という理念はわかるが、理念だけでは済まないところがあ  
る。障害福祉を支えるほうの生活の安定が必要である。書きにくいかもしれない  
が、そういうことを記載しなければいけないのではないか。

じむきょく くに しょうぐうかいぜん ほうてい しょうぐうかいぜん  
事務局 / 国のほうでも処遇改善ということで法定サービスについては処遇改善

加算を実施している。大羽委員がおっしゃるのは、横浜市としてもさらに検討あるいは実施するというご意見でよいか。

渡部会長/そういうことを加味しながらも発信したほうがいいのでは。

大羽委員/補足させていただくと、計画相談は横浜市では進んでいないと言われているが、計画相談の事業をやると赤字になることを実態としてあるとするならばそこを含めながら検討すべきではないか。

飯山委員/権利擁護についてだが、文章にするとこのように書くしかないかもしれないが、障害のある方たちが一般企業で働くとき、現場ではサポートをしてくれず、差別や虐待のような事例もある。働くことを支えることもプランに記載されているので、事業者にも普及啓発のような文言があればいいと思う。

相談支援について、横浜はとても分かりにくいというアンケートだが、

相談に繋がった時点で困りごとは半分以上解決できる。一般の事業でもアウトリーチみたいな相談支援の公策を考えられないだろうか。6年後を考えたときに困ったときの相談場所ではなく、身近な相談者がいる場所があってもいいのではないか。困っている人は困っていることが分からない。そういう工夫はプランの中にあれば嬉しい。

赤川委員/大羽委員と被るが、人材確保についてお話したい。資料にも記載があるが、福祉で働く人を増やしていくには相当努力しないと難しいと感じている。

グループホームでいうと、毎年200人分整備すると記載されているが、具体的に

どのくらいの何人の支援者が必要なのか。

質の確保も必要だと感じている。これからとても求められてくるのではないか。

計画相談についていうと、量の問題もあるが、そもそもそこに入ってくる人材が

高いレベルではないと難しいと感じている。

分野を超えて求められているという発想は非常に大切だと感じている。

市の施策として、福祉の働く人の割合を増やすという発想が必要である。

投票について権利擁護に入るか分からないが、障害のある人への配慮が現場

(横浜市)で機能していないと感じている。マニュアルがあると聞かすが、それを

公開してほしいと思う。投票も当たり前の権利なので、そこをお願いしたい。

奈良崎委員/1つめ。代筆ということで、できれば知的障害にもいれてほしい。

知的障害の人にも親や支援者が代筆するが、なるべく本人が書きたいので本人向け

にもそういうものがほしい。2つめ。知的障害の会議の分かりやすい研修を入れ

てほしいと思った。

須山委員/情報保障の取組の合理的配慮の提供について、視覚障害者・聴覚

障害者・知的障害者、それぞれの合理的配慮は違う。これを一緒にしてしま

うと一般の人にはわからないのではないか。

私のことでは、コロナでマスクを着けていると口の動きが分からないので会

話も聞き取りにくくなる。社会情勢でも配慮が異なる。手話で遠隔通信が確立さ

れているが、中途失聴者には手話が分からない、聴覚障害=手話ではなく、そ

ういうところにも視点<sup>してん</sup>を向けて<sup>む</sup>いただいて、要約筆記<sup>ようやくひっき</sup>の遠隔通信<sup>えんかくつうしん</sup>やパソコン<sup>つか</sup>を使った要約筆記<sup>ようやくひっき</sup>の情報保障<sup>じょうほうほしょう</sup>を充実<sup>じゅうじつ</sup>させてほしいと感じ<sup>かん</sup>じた。

わたなべかいちよう  
渡部会長<sup>わたなべかいちよう</sup>/いったんここで休憩<sup>きゅうけい</sup>としたい。

(10分休憩<sup>ふんきゅうけい</sup>)

じむきよく おおばいいん あかがわいいん  
事務局/大羽委員、赤川委員からいただいた人材確保<sup>じんざいかくほ</sup>について具体的に<sup>ぐたいてき</sup>言えるわけ  
ではないが、表現<sup>ひょうげん</sup>も含めて、支援者<sup>しえんしゃ</sup>も安心して<sup>あんしん</sup>働き続けられることも魅力<sup>みりょく</sup>の一  
つとして標記<sup>ひょうき</sup>できるよう検討<sup>けんとう</sup>したいと思う。質<sup>おも</sup>の確保<sup>しつ</sup>も含めて福祉分野<sup>ふくしぶん</sup>だけでは  
なく、<sup>いろいろ</sup>色々な分野<sup>ぶんや</sup>と協働<sup>きょうどう</sup>していくことも標記<sup>ひょうき</sup>させていただきたいと思う。

けんりようご  
権利擁護<sup>けんりようご</sup>についてもいくつかご意見<sup>いけん</sup>をいただいた。

しみん しえんしゃ きぎょうむ はたら  
まずは市民<sup>しみん</sup>や支援者<sup>しえんしゃ</sup>、企業向け<sup>きぎょうむ</sup>にも働きかけていくということは、市民<sup>しみん</sup>への普及<sup>ふきゅう</sup>  
けいはつ  
啓発<sup>けいはつ</sup>にある意味<sup>いみ</sup>含んでいるかもしれない。実際<sup>じっさい</sup>には差別解消法<sup>さべつかいしょうほう</sup>の研修<sup>けんしゅう</sup>を企業向<sup>きぎょうむ</sup>  
けにも実施<sup>じっし</sup>している。そこがもう少し<sup>すこ</sup>分かりやすい表現<sup>ひょうげん</sup>に考え<sup>かんが</sup>たい。

とうひょうじ ぶぶん かくにん  
投票<sup>とうひょうじ</sup>時の部分<sup>ぶぶん</sup>について確認<sup>かくにん</sup>したい。情報保障<sup>じょうほうほしょう</sup>の1つだ<sup>おも</sup>と思うが、選挙<sup>せんきょ</sup>は大切な  
けんり  
権利<sup>けんり</sup>なので確認<sup>かくにん</sup>をきっちりしていきたい。

じょうほうほしょう いけん  
それから、情報保障<sup>じょうほうほしょう</sup>のところで意見<sup>いけん</sup>をいただいたが、それぞれの障害<sup>しょうがい</sup>に合わせ  
た支援<sup>しえん</sup>ということで、一般<sup>いっぱん</sup>の方が分かりやすいような表現<sup>ひょうげん</sup>を考え<sup>かんが</sup>ていきたい。

い いみ あいしーていー かつよう かんが  
また良い意味<sup>い</sup>でICT<sup>い いみ あいしーていー</sup>の活用<sup>かつよう</sup>を考え<sup>かんが</sup>ていきたい。

ならさきいいん いけん  
奈良崎委員<sup>ならさきいいん</sup>からもご意見<sup>いけん</sup>をいただいたが、代読代筆<sup>だいてくだいひつ</sup>や支援者<sup>しえん</sup>の研修<sup>けんしゅう</sup>について文<sup>ぶん</sup>

しょうひょうげん  
章表現でどこまでできるか分からないが、かんが  
考えていきたい。

そうだんしえん  
相談支援について、いいやまいん  
飯山委員からアウトリーチのごていあん  
提案があった。せいしんしょうがい  
精神障害の  
ぶんや  
分野ではそのようなぎろん  
議論がされているが、これからぎろん  
議論するだい  
第4章でもごいけん  
意見を  
いただきながらかんが  
考えていきたい。

わたなべかいちょう  
渡部会長/生活の場面Ⅰというぶぶん  
部分についてごせつめい  
説明いただきたい。

じむきょく  
事務局/生活の場面Ⅰ す  
住む・暮らす  
のせつめい  
説明

わたなべかいちょう  
渡部会長/ごいけん  
ご意見をお願いしたい。

あかがわいいん  
赤川委員/19 ページだが、にんすく  
12人少なくなっているが、にゅうしょせつ  
入所施設のていあん  
定員を少なく  
していることだと思いが、にゅうしょ  
入所からなんにんちいきこう  
何人地域移行されているかもきざい  
記載してほしい。

にゅうしょせつ  
入所施設をよこはまし  
横浜市としてどのようにきのう  
機能させていくのをきざい  
記載してほしい。

そういう意味ではしょうふうがくえん  
松風学園は市のしせつ  
施設なので、にゅうしょ  
入所している人をどのようにち  
域に戻していくのかすうち  
数値をぐたいき  
具体的にきざい  
記載してほしい。

あともうひとつ。きょうどうせい  
共同生活援助でグループホームをねんかん  
1年間ににんぶん  
200人分整備すると

きざい  
記載されているが、さんこうしりょう  
参考資料のアンケートの21 ページのようにせつかく  
アンケートをとっていただいたので、たと  
例えばしょうらい  
将来グループホームにす  
住みたいという方の

しょうがいしゅべつ  
障害種別、しょうがいくぶん  
障害区分、それにもと  
基づいて、いちりつ  
一律にせいび  
整備するのではなくて、せいしんしょうがい  
精神障害  
のグループホームはいくつというようなきざい  
記載のほうがよいのではないか。

おかむらいん  
岡村委員/よこはまし  
横浜市のほうでやっているのはりかい  
理解しているが、ひ  
引きこもりのもんだい  
問題や

ひょうめん  
表面にでてこない、とく  
特に40代半ばでひ  
引きこもっているにんたち  
人達がもんだい  
問題になっている。

そういう人たちを地域包括システムでなんとか見出すような発掘するような、こ  
ういう障害支援の施策だけではなく、介護保険や地域ケアプラザのケアマネジ  
ャーと連携して高齢者と一緒にいる障害者を見いだせることも考えられるの  
かなと思う。そのようなひとたちへの手の差し伸べ方を考えてほしい。

入院している方これだけいろいろな施策が報じられているので、少しずつでも前  
進していると思うが、そこに現れない人がたくさんいる。そういう人たちを見出  
す方法をやって行ってほしい。計画相談にもそういった人たちは来ないので、ほ  
かの事業と一緒に連携してやっていただければいいと思う。

飯山委員/28 ページの障害者自立生活アシスタント事業が無くならず推進と  
いうことでとても感謝しているが、ほんとうにこれで間に合っていくのか。

利用者をこれからどうしていくのか気になる。見直しの時までには考えていかなけ  
ればいけない。

松風学園について。この計画を読むと、老朽化施設と同じ進め方であるが、横浜  
市は地域で暮らすことを支えることを考えているので、行動障害が激しい人た  
ち、医療と福祉が密接になっているようなそういう担保がないと民間では先がな  
い。ハードの整備だけではなく、公的な施設として、横浜の生活を支えることを切

に願っている。強度行動障害は退院先がない。うまく松風学園の広さも含めて活  
用していただきたい。

坂田委員/後見的支援制度は推進になっているので、このまま推進してほしい。

成年後見制度がもう少し分かりやすく手伝ってくれるところがあると後見人も



もうしたてにんふ えるのかなと思ふ。私 のところも弁護士さんと勉強会 を行っている  
が 一歩 踏み出せない。 分かりやすいパンフレット等があればいい。

じむきょく あかがわいいん 事務局/赤川委員からあった地域移行についてだが、20 ページを閲覧いただきた  
い。 地域移行の考え方ということでトピックスとして掲載しているが、左側の  
しひょう 指標、それから人数の根拠については4 行目に記載されているように、国の6期  
の計画に基づき、令和2年から令和5年度末までに地域生活の移行を87人、全体  
の入所者の約6 %、施設入所者数は23人、約1.6 %の減少を見込む  
こととしている。国の指標に基づいた数値が記載されている数値である。

しょうふうがくえん にゅうしよしせつ ていん 松風学園の入所施設の定員については横ばいという考え方である。

にゅうしよしせつ こうりつしせつ しょうふうがくえん やくわり 入所施設における公立施設（松風学園）の役割について、プラン上は再整備と  
しか記載をしていないが、再整備を進める中で公立施設の在り方検討を行ってい  
る。素案ができるまでには盛り込めればと思う。

グループホームの数字の根拠だが、区役所の調査における希望者数、それから  
入所施設のアセスメントシートから施設から地域移行される方がどのくらいか  
調査を行い見込んだ数、また特別支援学校の卒業生の方でグループホームを  
希望されている数を足すとおよそ3年間で600人となっているため、それを割  
り返して1年間で200人としている。

こちらのニーズの把握調査は中長期的なご希望というようにとらえており、  
現実的な数値かなとご提案している状況である。

いさまいん しまん なか やくわり けんとう  
飯山委員からの質問だが、中の役割について検討していく。

じむきょく おかわらいん はつげん もんだい ひ もんだい  
事務局/岡村委員からご発言いただいた、8050問題、引きこもりの問題について、

げんざいよこはまし せいかつしえん か ちゅうしん ぎょうせい なか よこ れんけい  
現在横浜市では生活支援課を中心としながら行政の中でも横の連携をとって

る。介護保険のケアマネージャーとも連携することも検討しているが、どこまで

プランに書き込むかは検討していきたい。

さかたいん せいねんこうけんせいど よこはまししゃかいふくしきょうぎかい  
坂田委員からあった成年後見制度についてだが、横浜市社会福祉協議会のあんし

んセンターが進めているが、法的に守れる仕組みなので、横浜市後見的支援制度と

うまく組み合わせながら広報ができるようにと考えているが、どのようにプラン

に記載するか検討していきたい。

わたなべかいちょう ばめん せつめい ねが  
渡部会長/場面2について説明をお願いしたい。

じむきょく せいかつ ばめん せつめい  
事務局/（生活の場面2について説明）

わたなべかいちょう いけん  
渡部会長/ご意見いかがか。

なか せい いん ぼうさい げんざい ふくしひなんじょ しょうがいしゃ す かた  
中瀬委員/防災・減災のところだが、福祉避難所での障害者の過ごし方について、

あまりプランに福祉避難所について記載がないが、今回の新型コロナウイルス

感染症下での過ごし方などに触れておくことは障害者の方も安心する一つの

ざいりょう  
材料ではないか。

じむきょく か ふくしひなんじょ あ かた ぼうさいけいかく けい  
事務局/コロナ禍での福祉避難所についての在り方について、防災計画のほうで計

画していることと、コロナの状況が動いている最中のため記載できていない。

か こ ふく かくにん  
書き込めるかも含めて確認してみたい。

奈良崎委員/できれば、避難所にテレビがある等の説明があるといい。コロナ禍ではストレス発散ができないという話が仲間内であった。

渡部会長/どこまで書き込めるかはあるが、事務局のほうも受け止めて検討していただきたい。次に生活の場面3をお願いしたい。

事務局/（生活の場面3の説明）

渡部会長/ご発言いかがか。

飯山委員/特別支援学校だけではなくサポート校にも大分こういう方たちが入ってきている中で情報が入ってきていない。どう書き込むか分からないが把握してほしい。

井出委員/教育のことだが、市の方と連携していきたいと考えている。

渡部会長/1点だけ私から。取組1についてだが、おそらく横浜市特別支援教育相談センターの相談件数は考えられない数になっているのだろう。新しく就学する子、あるいは途中での就学先について相談について十分に進められない状況だと思うが、今後の方向性があればお聞かせいただきたい。

事務局/飯山委員や井出委員からいただいた意見は検討したい。会長からいただいた意見として、年間5千件ほどのご相談をいただいている。一人ひとりの就学の相談にかけられる時間が限られているが、その中で中身を充実させることを進めていくために体制を拡充したりしてきたが、引き続きスムーズな教育の場を選挙できるように目標を掲げていきたい。

渡部会長/生活の場面4と第4章と第5章をお願いしたい。

じむきょく せいかつ ばめん せつめい  
事務局/（生活の場面4の説明）

だい しょう だい しょう せつめい  
（第4章、第5章の説明）

わたなべかいちょう いま せつめい ぜんたい とお いけん  
渡部会長/それでは、ただ今のご説明、全体を通してのご意見はいかがか。

おかむらいいん せいしんしょうがい たいおう ちいきほうかつ  
岡村委員/精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについてだが、このプラ  
ンが充実したものにならないと、どこに相談したらいいかわからない。本人が知  
らないとどうにもならない。情報として流してもらえればうれしい。そのような  
システムを願っている。

いいやまいいん じゅうろういこうしえん みこ すう ふ ひじょう  
飯山委員/53ページの就労移行支援について。見込み数を増やしているが、非常  
に苦しい経営状況で撤退するところもあると聞いている。

すやまいいん ぜんたい いけん しょうがいしゃ  
須山委員/全体の意見ということで発言させていただく。障害者にアンケートを  
とって、役所や銀行の手続きが分かりにくいという意見があった。そのため、分か  
りやすい情報発信を横浜市にはお願いしたい。

じゅうぶん しゅうにゅう ふあん いけん けんこう たいりょく よこ  
十分な収入がないから不安があるという意見もある。健康・体力においては横  
浜市も取り組んでいると思うが、賃金収入等の取組については不十分と感じる。

くに つうち しょうほう よ くに だんたつ しょうほう  
国の通知（情報）は読んでいてわかりにくいので、国からの伝達の情報をわか  
りやすくしてほしい。

さかたいいん ほうかごとう ふん じんぱい がっこう  
坂田委員/放課後等デイサービスがどんどん増えているのは心配している。学校に  
行っている間、朝送迎車で行き、帰りもそのまま送ってくれるため家の周りの人  
が障害者の子がいることがわからないのではないか。

この時期に親と向き合う時間もないまま就労期を迎えると、一人で就労に行け

なくなってしまうケースもある。こんなに必要なのか。おかあさん達が経験して  
しまくと楽な方に進んでしまうのは分かるし、ニーズがあるから増やすのだろう  
が、少し心配になる。訓練会でもその話がでている。

渡部会長/可能な範囲で事務局からお願いしたい。

事務局/日中活動の充実の選択肢の伸びの見込みだが、過去の支給決定者数を  
考慮しているためその結果増えている。施設への支援も行っていきたいと考えて  
いる。

放課後等デイサービスについて、横浜市として増やす減らすということではなく、  
現在の申請見込みから数値目標を設定している。利用の仕方毎ではないた  
め、放課後デイサービスを利用しながらご家庭の過ごし方をどうしていくかなど  
の生活全体をみてサービス支給を支援していきたいと考えている。

岡村委員のご発言について。いずれにせよ地域づくりだと思っているので、充実  
をさせていきたい。

渡部会長/須山委員も発言していたが、やはり分かりやすさというのは、こう  
いう状況になればなるほど必要となってくると思うので、今後様々なところで  
工夫や検討をしていただきたいがいかがか。

事務局/コロナの関係の通知もそうだが、かみ砕いてお知らせするということが追  
い付いていない。何かを選択する、選ぶときにも情報があってこそだと思ってい  
る。情報提供を充実させていくことは必要なことだと感じているため、権利擁  
護も含めて記載させていただきたいと思う。

	<p> <small>すいしんきょうぎかい</small> <small>しょうがいしゃ</small>        推進協議会でも、障害者プランそのものも分かりにくいと奈良崎委員から言わ        れている。ポイントをチョイスして分かりやすい版を作成していきたいと考        えている。  <small>わたなべかいちよう</small> <small>きちよう</small> <small>はつげん</small>        渡部会長/貴重なご発言ありがとうございました。今日の議題についてはこれ        で終わりにしたい。事務局からお願いしたい。  <small>じむきよく</small> <small>ほんじつじむきよく</small> <small>かみじよう</small> <small>ほう</small>        事務局/本日事務局の上條の方からご挨拶をいただき予定だったため最後に挨拶        をいただきたい。  <small>かみじようぶちよう</small>        上條部長/（あいさつ）  <small>じむきよく</small>        事務局/それでは以上を持ちまして会議を終了したい。  <small>じかい</small> <small>けんとうぶかい</small> <small>について</small> <small>がつ</small> <small>にち</small> <small>げつ</small> <small>じ</small>        次回の検討部会の日程は11月16日（月）14時からとさせていただきます。     </p>
<small>し</small> <small>りよう</small> 資料 ・ <small>とつきじこう</small> 特記事項	<small>しりよう</small> <small>しょうがいしゃ</small> <small>そあん</small> <small>あん</small> 資料 障害者プラン素案（案） <small>しりよう</small> 1-1 <small>しょうがいしゃ</small> 資料 1-1 障害者プラン概要 <small>しりよう</small> 1-2 <small>そあん</small> <small>がいよう</small> 資料 1-2 素案概要 <small>しりよう</small> 1-3 <small>いけんたいおうひよう</small> 資料 1-3 意見対応表 <small>さんこうしりよう</small> 1 <small>とうじしゃ</small> <small>ほうこくしよ</small> 参考資料 1 当事者アンケート報告書 <small>さんこうしりよう</small> 2 <small>そあんこっしぜんぶん</small> 参考資料 2 素案骨子全文